

# 闘病記文庫設置3年を迎えて

## 闘病記研究会シンポジウム 第3部 「医学教育に生かす患者の語り」

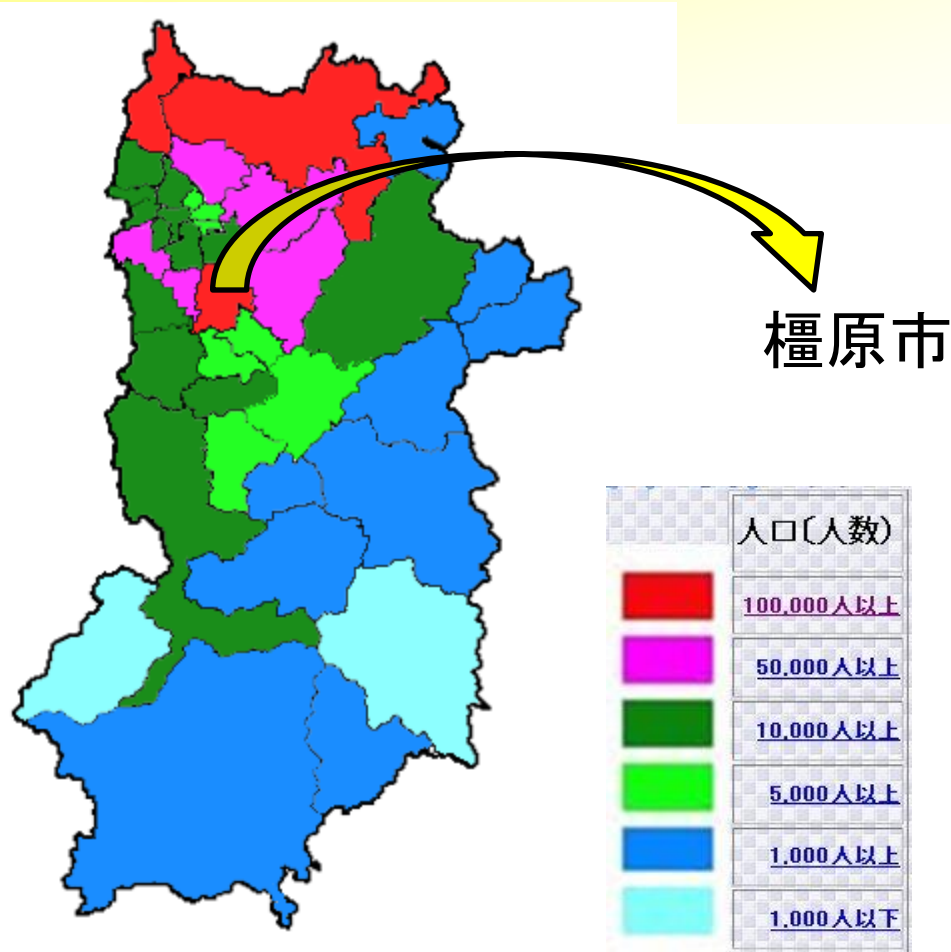
奈良県立医科大学附属図書館  
鈴木 孝明

2011. 2. 5



© 奈医図

# 本学の位置



橿原神宮→神武天皇

藤原京→694年遷都

大和三山

- ・ 畝傍山
- ・ 耳成山
- ・ 香具山

奈良県立教育研究所提供「奈良県の暮らし」より  
<http://www.nara-c.ed.jp/multi/kyouzai/index.html>

# 本学の概要



昭和20年に前身の奈良県立医学専門学校として創立  
平成19年度 公立大学法人

## 医学部

医学科 学生 607名、大学院生 83名

看護学科 学生 352名

教職員 1458名

(2010.5.1 現在)

現在の附属図書館は昭和54年に完成

30年あまり経過→改修を要求中



# 闘病記文庫設置のきっかけ —利用者からの要望



- ・当時医学科3年生の熱望→「患者中心の医療」が言われるようになって、医師を目指す学生も患者の気持ちを知ることの重要性が増してきた。ある疾病に罹った患者の気持ちを綴った闘病記は身近な教材であるが、個人で収集できる冊数は限られているので、図書館で体系的に収集し、誰でも利用できるようにしてほしい。
- ・資料の提供→他学の事例、闘病記文庫棚作成ガイドライン  
健康情報棚プロジェクト 石井氏紹介

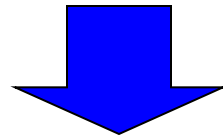
# 闘病記文庫設置のきっかけ — 図書館の方向性



同時期・・・

・EBM実践支援→EBM関連資料・オンライン版ツール収集  
→EBMを補完するNBMとの出会い→NBMの身近な資料  
として闘病記に注目

・館長に相談→趣旨に賛同→図書委員会審議→要望学生  
との面談(プレゼン)の上、館長の判断に一任→館長承認

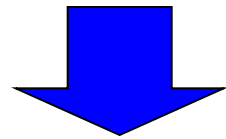


**闘病記文庫誕生！**

# 闘病記文庫開設準備 — 収集



- ・既存一書庫に散在 80冊
- ・購入一書店 91冊  
棚作成ガイドラインに基づいて注文
- ・寄贈一要望された学生 21冊  
図書館有志（古書店めぐり） 37冊  
その他 2冊



合計 231冊

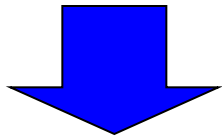
# 闘病記文庫開設準備 — 装備・登録・配架



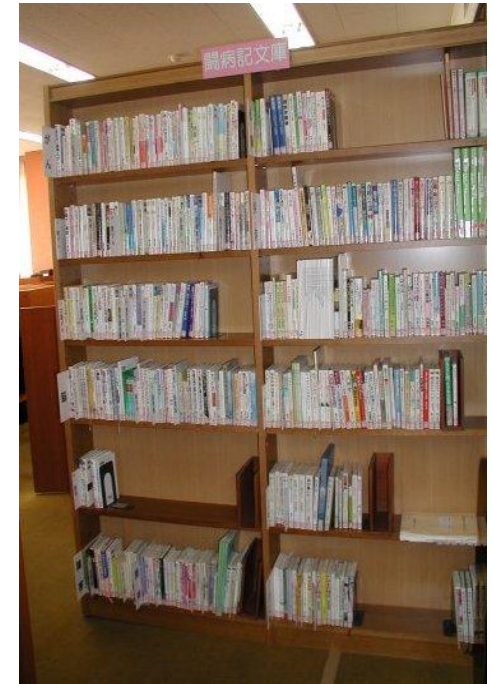
- ・ 表示板、見出しーケントボード(画材)を使用

⇒ コスト10分の1

- ・ 書架ーたまたま事務局から寄贈



231冊でスタート (2008.3.10)



# 闘病記文庫開設後

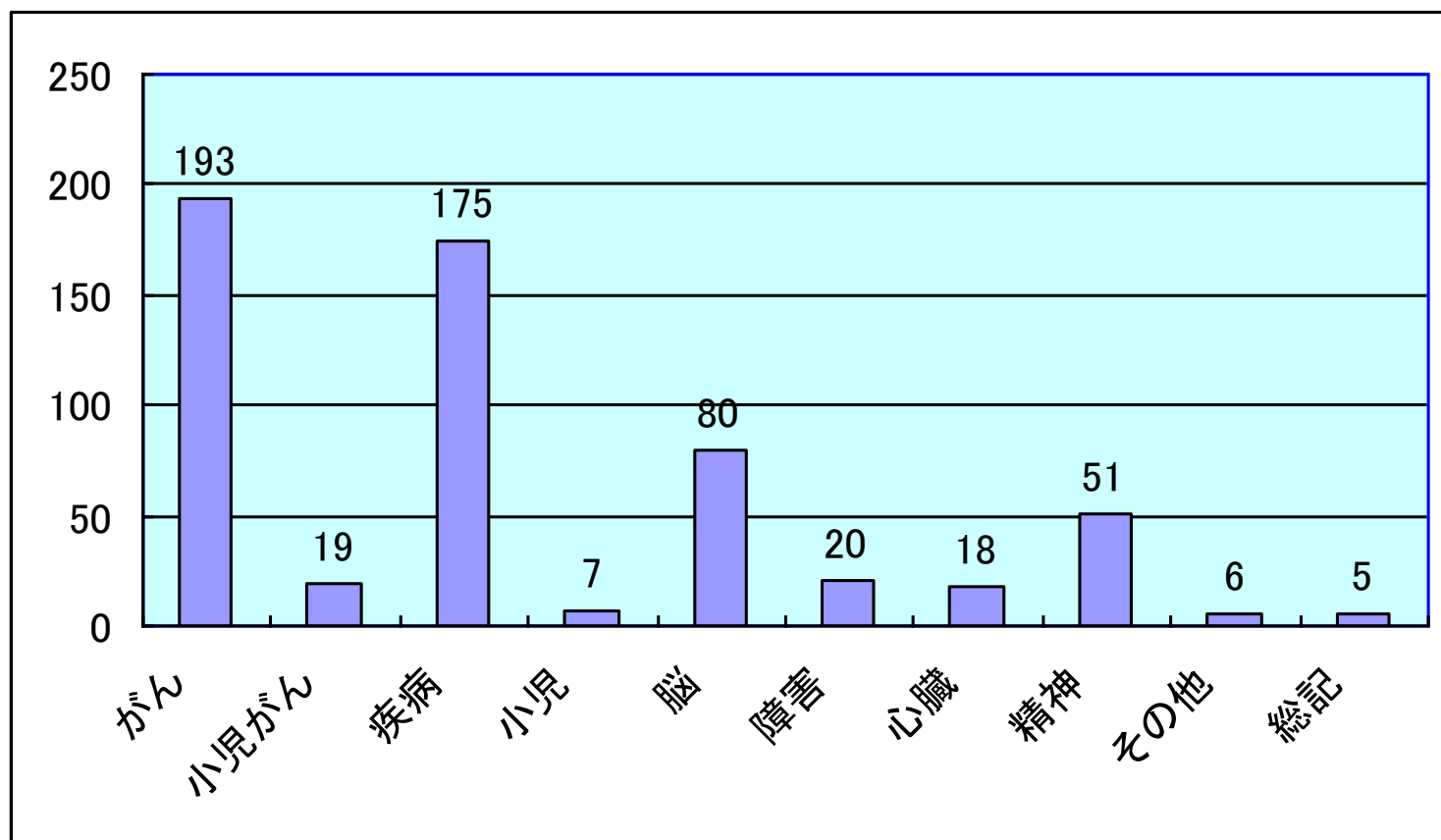


- ・NHKテレビ・ラジオニュース、新聞地方版で紹介
- ・来館者、問い合わせ、寄贈が相次ぐ
- ・冊数が500冊を越えたため保管場所を移す。(2010.7)
- ・日本学生支援機構主催「優秀学生顕彰」社会貢献部門で大賞を受賞(2010.11)



# 闘病記文庫構成一大分類

2011.1.31現在 574冊



# 闘病記文庫構成－受入種別

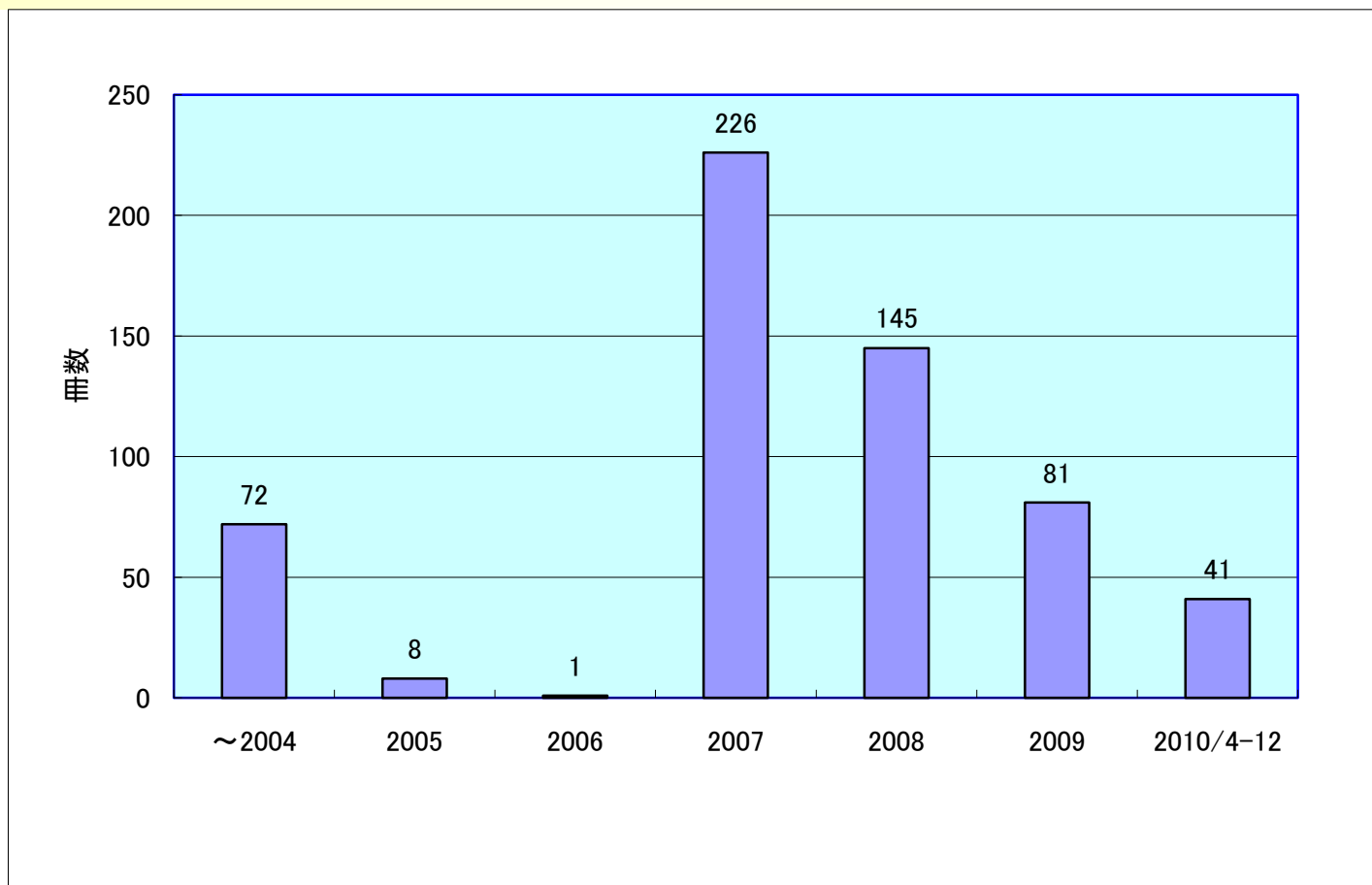
2011.1.31現在 574冊



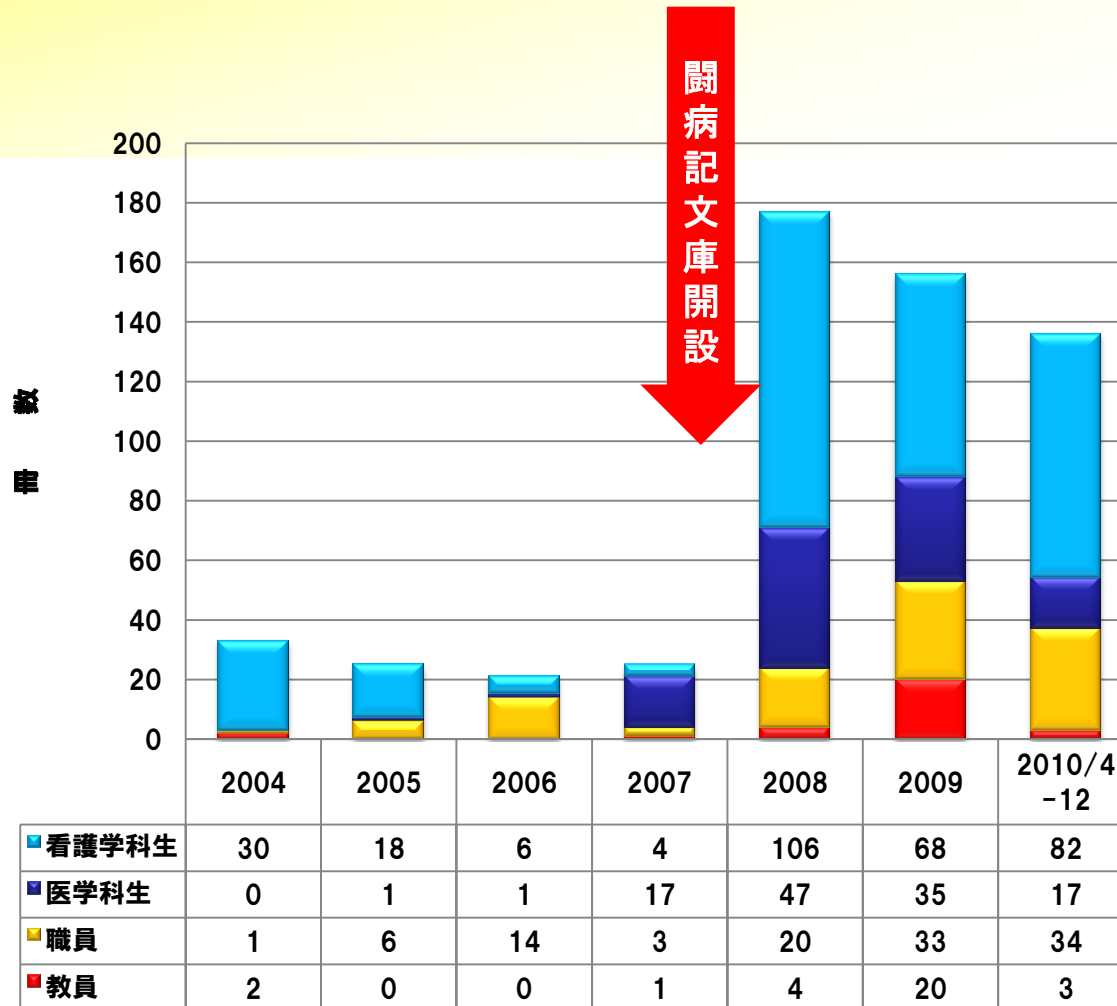
以前から所蔵		82
購入	市販	294
	古書店(パラメディカ)	39
	小計	333
寄贈	健康情報棚プロジェクト	63
	要望された学生	31
	有志(古書店回り)	43
	その他	22
	小計	159
計		574

# 闘病記文庫構成一年度別

2011.1.31現在 574冊



# 年度別・利用者別貸出統計



# 利用状況



- 看護学科生、職員  
(看護師)の利用が大半
- 医学科生の利用が低迷



# 今後の課題



- ・冊数(574/2105)、疾病数(120/333)が不十分
- ・広報が不十分
- ・受入基準があいまい
- ・既定分類にあてはまらない疾病の増加
- ・学外者は利用しにくい
- ・闘病記以外の一般向けの医療情報が乏しい

# 今後の目標



- 新刊書、古書含め年間100冊受入を目指す。
- 教員、研究者の目に触れる広報を行う。
- 受入基準を定める。
- ガイドラインの分類体系を独自に拡張し、利用のしやすさを模索する。
- 学外者への貸出体制を確立する。
- 近隣の患者会へ資料の提供を依頼する。

# 参考文献



川村殉子著

「奈良県立医科大学附属図書館における  
闘病記文庫の設置」

医学図書館 Vol.56 No.2 p.127-130.

(2009.6)

<http://hdl.handle.net/10564/940>